

加茂市



議会だより

第197号

平成29年7月31日

編集発行 加茂市議会

〒959-1392

新潟県加茂市幸町2丁目3番5号

TEL 0256-52-0080 (代表)

FAX 0256-53-4684 (直通)

ホームページ

<http://www.city.kamo.niigata.jp>

E-mail

gikaijimu@city.kamo.niigata.jp

—平成29年6月定例会他—



主な内容

- 一般会計補正予算などを可決……(2)
- 議案審議結果、議員賛否の状況……(3)
- 議会構成を見直し任期後半へ……(4)
- 7人が一般質問に登壇……(5)
- 特別豪雪地帯協議会総会……(8)
- 委員会の審査から……(9)

みんなで力を合わせて、
加茂市の環境を守っています。

(6月4日 加茂川一斉清掃)

一般会計補正予算などを可決

勤労者体育センター等都市ガス導入経費

三千九百五十三万円など

6月定例会

六月定例会市議会は、六月二十六日から七月六日まで、会期十一日間で開催されました。

この定例会では、一般会計補正予算など市長提出議案二十七件を慎重に審議した結果、一件を修正可決としたほかは、全て承認、原案可決、同意しました。

条例改正

非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正は、監査委員の職務を考慮し、識見監査委員の月額報酬を現在の五万八千円から九万九千円に増額したということです。

これに対して、付託された総務文教常任委員会では否決すべ

きものと決しましたが、最終日の本会議で、識見監査委員の月額報酬を現在の五万八千円から六万二千元に、議会選任監査委員の月額報酬を現在の三万六千

百円から三万八千五百円に増額する修正案が提出され、賛成多数で可決されました。

職員の退職手当支給に関する条例の一部改正は、雇用保険法の改正により、災害により離職した者等に対する失業給付が拡

充されたこと及び民間の職業紹介事業者等の紹介による就職者も移転費の支給対象に追加されたことに伴い、条例中の失業者の退職手当に関する規定について所要の改正をするものです。

職員の育児休業等に関する条例の一部改正は、児童福祉法の改正により「養子縁組里親」が法定化されたことにより所要の

改正を行うものです。また、育児休業期間の再度の延長等ができる「条例で定める特別の事情」

に、人事院規則に準じて、待機児童についての規定を追加するものです。

重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正は、この助成事業において、県が九月から対象を拡大することとしたため、それに合わせて改正するものです。

補正予算

一般会計補正予算は、八千二百二十九万九千円を増額するものです。

歳出の主な内容は、勤労者体育センター等都市ガス導入経費三千九百五十三万円などを増額するものです。これに充てる財源として、繰越金七千二百九十七万四千円などを増額して措

置するものです。

この結果、予算の総額は百四十億二千二百五十九万九千円となりました。

市道路線

桜沢及び石川二丁目の民間宅造で

設置された道路を市で管理してもらいたいとの地元要望により、市道路線に認定するものです。また、東芝横線の市道路線の変更は、須田の広域農道を市道として管理するため、

東芝横線の起点を変更するものです。

人事

定例会最終

日の本会議で、農業委員会委員に十九名の方を、本年七月二十日付けで任命することに同意しました。

専決処分

国民健康保

険特別会計補正予算の専決処分は、平成二十八年度の決算見込みで歳入が歳出に不足することから、平成二十九年度の歳入を繰り上げてこれに充てることとし、五月三十一日付で専

決処分したものです。歳出の内容は、前年度繰上充入金二億三千五百三十七万九千円で、これに充てる財源として、普通調整交付金二億三千五百三十七万九千円を増額して措置したものです。

この結果、予算の総額は三十六億七千七百九十七万一千円となりました。



6月定例会本会議 (6月27日)

定例会日程

6月26日	本会議・全員協議会
27日	本会議
28日	連合審査会
29日	産業建設常任委員会
7月3日	社会厚生常任委員会
4日	総務文教常任委員会
6日	本会議

詳しくは会議録で
六月定例会の会議録は、九月上旬に発行予定です。 図書館、勤労青少年ホーム、かも川荘、ゆきつばき荘、各コミュニティセンターでご覧ください。
なお、行政視察報告についても、会議録と同じ場所でご覧ください。また、平成二十八年三月定例会分からは、加茂市ホームページに、PDF形式で掲載しています。今後とも会議録の発行に合わせホームページに掲載しますので、ご覧ください。 ※掲載場所「加茂市HP」↓「各課のページ」↓「議会事務局」↓「会議録」



副議長 中野元栄



議長 森山一理

市民の皆様には、市議会に對しまして日頃より特段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

六月の定例市議会におきまして、私たちは議員各位の御推挙により、伝統ある加茂市議会の第二十五代議長・第三十代副議長に就任いたしました。

議会におきましては、市長を長とする執行部と真摯かつ緊張感のある議論をおこない、市民の代表機関として、市民との連携・協力を図り、公平・公正な立場に立つて議会運営に努めてまいります。住みやすく活気あふれる加茂市の発展を目指し、課題の解決にむけて全力で取り組んでまいります。

皆様から負託を受けた議員十七名一同、不断の努力と調査研究を怠らず、常に全力で議会活動に臨む決意でありますので、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

議会構成を見直し任期後半へ

議長に森山一理議員

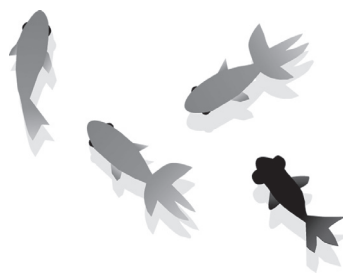
副議長に中野元栄議員

議会人事の構成替えは、五月上旬から三回の各派交渉会の議論を経て、六月議会の初日に決定し、任期の後半二年を担う、議会の新しい構成が決まりました。

申し合わせにより議長からの辞職願いを許可し、議長選挙を指名推選により行い、森山一理議員を選出いたしました。この結果、副議長が欠員となったため、副議長の選挙を指名推選により行い、中野元栄議員を選出いたしました。

次いで、常任委員・議会

運営委員の選任、医療問題特別委員の選任、地方創生特別委員の選任、一部事務組合議会議員等の選挙など議会の人事構成を決めました。



新しい議会の構成

18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	議席
関 龍 雄	樋 浩 二	安 武 敏	樋 博 務	茂 岡 明 司	安 田 憲 喜	中 野 元 栄	山 田 義 栄	森 山 一 理	(欠員)	保 坂 裕 一	滝 沢 茂 秋	浅 野 一 明	大 平 一 貴	佐 藤 俊 夫	白 川 克 広	藤 田 明 美	三 沢 嘉 男	氏 名 期
無	無	無	無	無	無	無	無	無		無	無	無	無	無	無	無	公	党派
自由クラブ	☆市民クラブ	YO1998	☆市政クラブ	市政クラブ	市政クラブ	市民クラブ	市政クラブ	☆大志の会		大志の会	大志の会	大志の会	☆YO1998	大志の会	市政クラブ	大志の会	公明党	会 派
杜厚	◎医療 総文 議連	○総文 医療	総文◎議連	杜厚 地方	産建 医療	産建	総文 医療	杜厚		産建	○産建 地方	◎総文◎医療	◎地方◎杜厚 議連	◎地方◎産建 議連	◎地方◎杜厚 議連	○杜厚 地方	○杜厚 地方	委員会所属
消防衛生	消防衛生		消防衛生	広域水道		副議長 くら福祉	消防衛生	議 長		監査委員	中越福祉	後期高齢	消防衛生	消防衛生	消防衛生	消防衛生	消防衛生	一部事務組合ほか

【注】◎委員長
○副委員長
☆会派代表者

委員会
総文＝総務文教常任委員会
産建＝産業建設常任委員会
杜厚＝社会厚生常任委員会
議連＝議会運営委員会
医療＝医療問題特別委員会
地方＝地方創生特別委員会

一部事務組合等議員
消防衛生＝加茂市・田上町消防衛生保育組合
中越福祉＝新潟県中越福祉事務組合
広域水道＝三条地域水道用水供給企業団
くら福祉＝くら福祉保健事務組合
後期高齢＝新潟県後期高齢者医療広域連合

市議会6月定例会 一般質問

県知事との対話について

YO1998 安武秀敏 議員



質問 ① 米山県政が

船出をしてから八ヶ月が過ぎた。米山知事は対話型県政の推進を公約しているが、市長は知事との対話をされたのか伺う。

② 昨年の十二月定例会で加茂駅にエレベーターの設置を提案した。加茂駅は、利用者も多い。エレベーターの設置を再び提案するが、いかがか。

③ 北コミュニティセンターが建設されるが、地元で反対の声が上がった。地元への説明はどうか。また、各コミセンの決算はどうか。西加茂及び西小地区にコミセン開設を望む声が多い。新設が困難なら、西加茂集会所等への浴場増設や、ゆきつばき荘に交流の部屋を増設してはどうか。

答弁 ① 米山知事とはこれまで、四月に県内全市町村長との意見交

換会、また、星野県議と訪問し加茂病院の産科個室建設など前知事との約束の実行確認、五月には土砂災害警戒区域等の調査結果公表への抗議を行ってきた。大切なことは、誠心誠意知事に接し、加茂市民と県民の幸せのために全力を尽くすことである。

② 平成二十年にJR東日本新潟支社から、各ホームにエレベーターを設置し跨線橋を渡す方法が推奨され、その加茂市負担分は一億二千五百万円であった。加えて西口からも利用するには、さらに一億円位がかかる。多額の費用と様々な検討が必要である。財政状況を見極め対応しなければならぬ。

③ 北コミセン建設に今年度九千百万円を予算化。現在、詳細設計を進めており、地元説明会を行い建設工事を発注、来年四月に供用開始したい。コミセンの決算状況は、全体で入館者二十七万二千名、管理運営費一億千四百万円である。また、西加茂にゆきつばき荘と西加茂集会所がありコミセン同様利用されている。西小地区も市民バスで下条コミセンに直結し、加茂大橋により須田コミセンも近くなった。今後とも利用いただきたい。

県の土砂災害危険箇所公表に対する今後の対応について

大志の会 滝沢茂秋 議員



質問 ① 新潟県

は、加茂市内の土砂災

害の危険箇所について、五月二十五日に新たに公表し、これに対して市長は談話を出された。この談話の中で、加茂市が公表された中身を点検し、妥当でない箇所を指摘、修正を求めるとのことであるが、現在の調査状況及びスケジュールについてお聞きたい。

② 市立図書館の学習室は、仕切りのある個人ブースが人気だが九台と数が限られている。増設等はどうか。また、公民館などの施設に期間限定で学習室を設置してはどうか。今後の旧生田屋の施設利用について、文化や芸術の拠点として利用するほか、学習室を設置してはどうか、見解を伺う。

答弁 ① 急傾斜地、土石流、地滑りでは現地調査する観点が異なる。まずは今回公表された急傾斜地百九ヶ所を対象に六月五日から現地調査を行っている。六月十六日現在で九十七ヶ所の調査を終え

た。引き続き残りの急傾斜地と今回公表された土石流百七ヶ所、地滑り四ヶ所の現地調査を行う。暑さや天候を考え現地調査にあと三ヶ月程度を要する。その後、前回の三十ヶ所と今回の二百二十ヶ所について指摘・修正箇所を明示し、年内を目標に加茂市案の作成を完了したい。が、膨大な箇所であることから遅れてもやむを得ない。

② 市立図書館では、学生の勉強スペース提供のため、夏休みの臨時開館などで協力している。学習室には七十席分の机席と個人ブース型机が九席あり、試験前には一階の閲覧席六十五席も利用されている。合計百四十四席となり、三条市図書館の百三十九席、見附市図書館の百六席と比べても少なくはない。個人ブース型机の増設等は、貴重な意見として承る。勉強は本来自宅で行うものであり、公共施設の使用は望ましくない。また、旧生田屋の利用については、小京都加茂市にふさわしい使い方をすべきであり、学習室の設置は慎重な検討が必要である。

市議会6月定例会 一般質問

加茂市の主要政策の概要、財政状況、公共事業の進捗状況、諸問題について

市民クラブ 樋口 浩二 議員



質問 安倍首相は「二〇二〇年を新しい憲法

が施行される年にしたい」と表明した。この政府方針に対する意見はどうか。北コミュニティセンター建設工事、堰ノ川改修工事の進捗状況はどうか。財政状況について公債費比率、起債制限比率の見通しは。国道四〇三号北バイパスの加茂市工区、下条川橋台工事、小須戸田上工区における供用開始予定は。加茂川及び下条川の堤防嵩上げ工事の進捗状況はどうか。新町地区街路事業の進捗状況と今後の予定を伺う。大皆川の河床の土砂を除却してほしいがどうか。

答弁 平和憲法を改正したら最後海外派兵を断れず、日本人は世界の戦場で血を流し続ける。国民の自由と権利に大きな制約を加えることは言語道断である。北コミセンは、建物が和室四十畳二室等で約六十一坪、公衆トイレのほか遊具を移設し駐車場を設ける。地元説明会の後工事を発注、来年四月に供用開始したい。堰ノ川改修工事は、加茂川までの延長九十八mで一億二千万円を見込み、設計と占用協議の後、九月頃発注したい。平成三十一年度の公債費比率六・〇％、起債制限比率六・四％を見込む。早期健全化基準二十五％に比べ理想的な状態である。国道四〇三号北バイパスの下条川の橋は平成三十三年度頃架かる予定で、福島荒又線までは平成三十四年度頃を、小須戸田上工区の残り二・一kmは平成三十年代の早い時期の供用開始を県は目指している。加茂川の堤防嵩上げは県が平成十九年度から毎年進め、今年度は左岸の鉄道橋下流から加茂川橋間の特殊提による工事を予定。下条川は天神林地内から工事に着手し上流に向け進めている。新町地区街路事業は一丁目が終わり、二丁目の山手側の工事を行っている。木造雁木の工事にもそれに合わせて施工していく。大皆川は、県管理の河川であり、河床堆積土砂の除去等を県へ、なお強く要望したい。

行楽時における宮大門周辺の渋滞緩和対策と来街者への駐車場情報の周知について

大志の会 保坂 裕一 議員



質問 ① 大型連休中に多くの観光客が

訪れ宮大門の周辺道路で大渋滞となった。誘導員配置等による渋滞緩和、駐車場の不足対策、ホームページでの来街者への事前周知はどうか。また、加茂山公園駐車場等の行楽期の休日の有料化、公民館下道路を整備できないか伺う。

② 全国的に認知症の増加が見込まれ、行方不明の届出も増えていく。身近でも一時行方不明となるケースがあった。早期発見に向けた取り組みが必要と思うがどうか。メール活用 of 搜索事業も行われており実施を要望するがどうか。

③ 「ふるさと納税」返礼制度のシステム導入に関する進捗状況とその概略について伺う。

答弁 ① 今年の大型連休中は、加茂市を取り上げたテレビ番組が多く放送されたことなどから、多くの方々が訪れ大渋滞となった。対策として、誘導員については配置先等慎重な検討が必要。また、駐車場情報は五月に提案され早速ホームページに掲載した。加茂山公園駐車場等の有料化は、万有料化を極力行わない方針から行うべきでない。公民館下道路を整備してもその先の民俗資料館脇の道路が狭くメリットが見込まれない。

② 加茂市では認知症サポーターを養成し、見守りなどのお手伝いをお願いしている。介護・看護支援センターでは徘徊の恐れのある高齢者を把握し民生委員など地域の方々などが見守っている。行方不明になった場合は家族の要請で、警察署から協力機関にアクセスした「はいかいシルバースOSネットワーク」を活用している。メール配信についてはプライバシー管理の問題などがある。いろいろな方法について検討したい。

③ ふるさと納税の返礼制度の実施に向け鋭意検討しているが、その最中に総務大臣の過度な返礼品を抑えろとの通知がでた。これを受け全国的に見直しの動きがある。その中で早急に検討を進めたい。

市議会6月定例会 一般質問

加茂市の障害福祉サービス事業について

大志の会 藤田 明美 議員



質問 三条市にある県立月ヶ岡特別支援学校などの特別支援学校を卒業した後、障害者が通う事業所を中心に五
点質問する。(1) 利用者が定員近くに達している事業所もあり、利用
者ができる事業所の減少が予想される。市内に
事業所を増やし支援で
きる体制を整えられな
いか。(2) 市内外の複
数の事業所を利用して
いる方もおり負担と思
われる。複数利用しな
いで済むようにならないか。(3) 障
害者に関するニーズやサービス
量の把握、また障害福祉計画の策
定・評価はどのようにしているか。
(4) 加茂福祉会で土曜日に利用で
きる事業所を設置できないか。
(5) 専門的な知識を持った人材の
確保や育成の支援はいかがか。
答弁 加茂市の障害者が現在利用
しているサービス事業所は、訪問

系、通所系、入所系合わせて五十
七事業所であり、市内の六事業所
を除く市外の事業所は五十一であ
る。(1) 市立と一部事務組合が運
営する事業所を除けば、住所に関
係なく利用できる。障害福祉サー
ビス事業の利用を希望される方に
対し福祉事務所等の職員が直接相
談を受け、希望の事業所が利用で
きるよう支援している。(2) 障害
特性の多様性によりサービス事業
者側にも様々な特徴が必要となる。
障害者本人の利用目的や希望に応
じ複数の事業所の利用を望む方も
多い。(3) 介護保険事業計画につ
いて意見を聴く会の委員から、障
害福祉計画についても意見を頂き
作成している。また、私をはじめ
福祉事務所等の職員が中心となり、
市が責任をもって相談や要望等把
握し施策に反映させている。自立
支援協議会も近いうちに設置した
い。(4) 加茂福祉会が運営する第
二平成園で土日祝日もサービスを
提供している。また、平成園、第
二・第三平成園の各デイサービス
も土日祝日利用できる。(5) 卒業
する生徒数の推移や障害福祉サー
ビス事業所の利用状況等を見極め
人材確保・育成を行いたい。

土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の基礎調査の県による公表
を受けた今後の対応について

大志の会 浅野 一明 議員



質問 ① 県によ
り市内の土
砂災害警戒
区域等の調査結果が公表された。
土砂災害防止法では、指定区域で
の住宅の立地等が制限される一方、
市町村に警戒避難体制整備を求め
ている。(1) 警戒区域等に係る住
宅改修等の国県の補助があるか。
(2) 市の基礎調査点検と共に避難
体制の整備も行っているのか。
(2) 通勤時国道四〇三号の三条方
面からの車が渋滞する。下条陣ヶ
峰線等の整備により渋滞も緩和さ
れると思うが今後の方針はどうか。
(3) 文化庁が認定する日本遺産に
ついて、平成二十七年から始ま
り県内でも認定された。加茂市も
北越の小京都のストーリーをまと
め認定を目指してはどうか。
答弁 ① (1) 国県の補助制度に
ついては、住宅・建築物の土砂災
害対策改修に関する事業により仕
様を満たす外壁や擁壁の設置費用
の一部が補助される。一棟につき
補助対象限度額三百三十万円、う

ち国と市で各々十一・五%の三十
七万九千五百円ずつを負担し、残
る二百五十四万四千円と限度額を超
える経費は所有者負担となる。ま
た、移転等の勧告を受けた場合は
低金利の融資がある。(2) 基礎調
査が公表されても市の対応が変わ
るものではない。これまでと同様、
機を失せず臨機応変に対応する。
(2) 下条陣ヶ峰線は、矢立境線か
ら石川公園までと中興野地内の区
間が整備済みである。残る区間は
下条川に橋を架けなければならず、
橋と道路の工事費で十億五千万円
かかる。中興野線も未整備の国道
四〇三号バイパスまでの整備に六
億六千万円程かかる。一番の渋滞
緩和策は、国道四〇三号バイパス
の全線開通である。引き続き県と
関係機関へ強く要望する。
(3) 日本遺産は全国で五十四件が
認定され新潟県関係は二件である。
認定のためには国指定・選定文化
財が必要。小京都加茂市の認定を
目指すのがよいと思うが、まずは
市内のもので国指定・選定文化財
に指定できるか検討が必要である。

市議会6月定例会 一般質問

土砂災害基礎調査の公表について

YO1998 大平 一 貴 議員



質問 ① 土砂災害基礎調査の公表について

伺う。(1) 基礎調査を三ヶ月程度で検討とあるが全ての箇所か。

(2) 公表まで三ヶ月でよいのか。(3) 前回の急傾斜地で二十一ヶ所修正だが県と市の調査方法の違いと修正事項は。

(4) 調査結果の各戸配付はいつか。(5) 土石流に係る指摘はどうか。

② ゴールデンウィークは各テレビ局で加茂市が紹介され、多くの観光客がおいでになった。その効果はどうか。市長はどう思われたか。加茂山公園等の観光地に年間どのくらいの費用をかけているか。整備の目的は何か。

③ 加茂市ではどのような受動喫煙防止対策を考えているか。職員の勤務中の喫煙に対してはどうか。

答弁 ① (1) 及び (2) 急傾斜地、土石流、地滑りの現地調査を行い、

前回の土石流三十ヶ所と合わせ二百五十ヶ所について、加茂市案の完了は年内を目標としたい。が、膨大な箇所であり遅れてもやむを得ない。(3) 県と市の調査方法は基本的に相違はない。県修正の二十一ヶ所は、主に対策工事の施工等によるものである。(4) 市の調査は県に修正を要請するためのもので、公表は県が行う。(5) 前回の公表の土石流は常識を超えていた。点検にあたり市幹部が検討に参加することもあった。

② 観光客の数で比較すると、昨年五月に比べ、加茂山で一万四千四百九十人、土産物センターで八百七十人増加した。多くのお客様がおいでくださり、ありがたい。今年度当初予算で加茂山公園等四千八百五十六万円、栗ヶ岳県民休養地千六十一万円、冬鳥越スキーガーデン二千四十五万円を計上している。加茂市の観光地は基本的に無料で、多くの方からおいでいただき、北越の小京都加茂をゆっくりお過ごしいただいている。

③ 受動喫煙は、法律で厳しく規制されるべきである。また、横浜市のように職員に対し勤務中喫煙減を通知する措置はしない。

特別豪雪地帯協議会総会開く

平成二十九年度新潟県特別豪雪地帯市町村議会協議会総会が、五月十八日、加茂市が開催市となり、田上町のホテル小柳で開催されました。

問題の解決推進を図ることを目的としています。会員市町村は県内十八市町村で、この日は、十五市町村の議長、事務局長らが出席し、議案五件を全会一致で可決しました。



新潟県特別豪雪地帯市町村議会協議会総会

委員会の審査から

各常任委員会に付託された議案は、6月29日から7月4日の間に各常任委員会を開いて慎重に審査した結果、議案は、1件を否決すべきものと決したほかは、全て原案可決すべきものと決まり、最終日の本会議へ報告されました。



産業建設常任委員会の現地視察(6月29日 桜沢線4号)



議案審査中の社会厚生常任委員会



第44号議案について、無記名投票をする総務文教常任委員会

産業建設常任委員会

六月二十九日に委員会を開催し、市道路線の認定箇所等の現地視察を行った後、一般会計補正予算など付託された議案三件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

社会厚生常任委員会

七月三日に委員会を開催し、

総務文教常任委員会

一般会計補正予算など付託された議案二件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

七月四日に委員会を開催し、一般会計補正予算など付託された議案四件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、第四十四号議案非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の

議会改革特別委員会

平成二十七年五月二十六日に設置した議会改革特別委員会は、諸

一部改正を除く三件については、特に意見・要望を付すこともなく、いずれも全会一致で原案可決すべきものと決定しました。また、第四十四号議案については、質疑、討論がなされ、無記名投票の結果、反対多数により否決すべきものと決定しました。なお、その後、最終日の本会議で修正可決されました。

地方創生特別委員会

平成二十九年六月二十六日の本会議で、地方創生に関する事項の調査研究を目的に、地方創生特別委員会設置の動議が提出され、全会一致で可決しました。

般の事情を考慮し廃止しました。市長への要望で未実施のものをはじめ、調査、研究等について、議会運営委員会が引き継ぐことになりました。

議員表彰

全国市議会議長会から永年在職議員として表彰された、次の方々の表彰状伝達式が、定例会初日の開議に先立って行われました。

【一般表彰】

◎議員在職十年以上

保坂 裕一 議員

【特別表彰】

◎議員在職三十年以上

樋口 浩二 議員

関 龍雄 議員

5 月 臨時会

五月二十三日に臨時市議会が開かれ、市長提出の議案二件を承認、原案可決しました。

そのうち、一般会計補正予算の三号補正は、新潟大学サポーター倶楽部負担金三十万円を増額し、これに充てる財源として繰越金三十万円を増額して措置するものです。

7 月 臨時会

七月二十七日に臨時市議会が開かれ、市長提出の議案一件を原案可決しました。

これは、一般会計補正予算で、私道舗装工事等補助金二百十六万円を増額し、その財源として、繰越金百万四千円を増額するな

として、措置するものです。

連合審査会

六月二十八日に連合審査会を開催し、各常任委員会に付託された議案七件について、総括質疑を行いました。

全員協議会

五月二十三日に月例全員協議会を開催し、事務に関する説明書の質疑を行いました。

七月二十七日に月例全員協議会を開催し、宮寄上地区中山間地域所得向上支援対策事業について説明を受け、質疑を行った後、事務に関する説明書の質疑を行いました。

議会日誌

〈5 月〉

8日 各派交渉会
18日 特別豪雪地帯市町村議会協議会監事会・理事会・総会（加茂）
19日 議会運営委員会
23日 臨時市議会
24日 月例全員協議会
26日 政務活動費決算審査会
27日 各派交渉会

〈7 月〉

1～6日 定例市議会
6日 地方創生特別委員会
11日 県央基幹病院設置に係る道路等環境整備促進期成同盟会県要望
24日 議会運営委員会
27日 臨時市議会
28日 月例全員協議会
29日 議会だより編集委員会
30日 地方創生特別委員会

行政視察来市状況

7月20日 千葉県八街市

政務活動費など掲載中

加茂市ホームページで、平成二十八年度の加茂市議会の政務



表彰された保坂裕一議員



表彰された樋口浩二議員



表彰された関龍雄議員

活動費、議長交際費の明細がご覧いただけます。トップページから「各課のページ」、「議会事務局」、「議会情報」をクリックしてください。

議会だより編集委員

任期満了により、各常任委員会から次の者が、議会だより編集委員に選出されました。

委員長	森山 一理
副委員長	中野 元栄
委員	三沢 嘉男
委員	白川 克広
委員	大平 一貴
委員	浅野 一明
委員	滝沢 茂秋
委員	安武 秀敏